

創刊号

平成19年  
3月発行

# 新炉建設だより

編集・発行 倉浜衛生施設組合 沖縄市字倉敷152番地 電話(098)921-0883/FAX(098)921-0843



管理者  
沖縄市長  
東門 美津子



副管理者  
宜野湾市長  
伊波 洋一



副管理者  
北谷町長  
野国 昌春

## 創刊にあたって

倉浜衛生施設組合では、沖縄市・宜野湾市・北谷町から排出される一般廃棄物の処理を第2工場(昭和51年竣工)及び第3工場(昭和57年竣工)で行っています。

しかし、現工場は竣工から25年以上経過し、施設の老朽化による処理能力の低下など、ごみの適正、安定処理が極めて厳しい状況にあり、新たなごみ処理施設の建設が早急に必要となっています。

このような状況において、平成13年度には新炉建設室を設置し、計画理念である環境への配慮、周辺住民との協調、資源循環型施設としての機能確保などを考慮し、平成14年度に建設地決定、平成17年度にごみ処理方式及び機種決定、平成18年度に環境影響評価及び都市計画決定などの業務を進めてきました。

これまで、ごみ処理施設整備事業を進めるにあたっては、説明会や意見交換会を開催し、建設地周辺住民の皆様にご理解とご協力をいただいております。

これからも、建設地周辺住民の皆様並びに沖縄市・宜野湾市・北谷町の住民の皆様及び関係各位にも事業をご理解いただくことが重要であると考えています。

今後、事業の内容、事業の進捗状況など事業に関する情報を発信していきますので、よろしくお願い申し上げます。

平成19年3月1日

倉浜衛生施設組合  
管理者 東門 美津子

## ごみ処理施設建設基本合意書を締結



平成19年2月23日(金)に倉浜衛生施設組合と沖縄市池原自治会は、ごみ処理施設建設基本合意書を締結しました。

沖縄市登川自治会及び倉敷ダム流域振興促進協議会とは、誠意をもって継続的に話し合いを持ちながら、合意に向け努めていきます。(平成19年3月1日現在)

### \*ごみ処理施設建設基本合意書(要約)\*

- 1 建設に合意する。
- 2 公害防止協定書を締結する。
- 3 地域還元対応方針を基本とし、今後、継続的に協議し、合意に努めるものとする。

## ごみ処理施設整備事業工程

平成18年度	環境影響評価書、都市計画決定、建設工事着工(予定)
平成19年度から 平成21年度まで	建設工事(予定)
平成22年度	新ごみ処理施設稼動(予定)

## 施設概要

1. 建設地 沖縄市字池原勢頭原・奈呂加原

2. 敷地面積 約9ha

### 3. 計画理念

#### ア 環境への配慮

倉敷ダム(水環境)や周辺沼地(池)、森林環境(緑)など豊かな生態系を保全し、環境負荷を極力与えない。

#### イ 周辺住民との協調

安全確保を図ることにより周辺住民に親しまれ、環境教育等にも貢献できる住民との協調の場の提供。

#### ウ 資源循環型施設としての機能確保

積極的なリサイクルの推進が図れるとともに、維持管理しやすい資源循環型施設としての機能確保を図る。

### 4. 設備計画

#### ア ごみ焼却施設

ごみ焼却施設は、流動床式ガス化溶融炉方式とし、一般廃棄物(可燃物)を処理対象として、ごみの熱分解ガスを使用し高熱で灰分を溶融します。

この処理の過程で発生するメタルやスラグはマテリアルリサイクルの観点から有効利用します。

メタル(溶融不適物(鉄)、アルミ)は有価物として資源回収業者に引き渡すこととしています。

スラグについては、溶出基準を満足したものになることから、アスファルト合材、コンクリート二次製品、路盤材等として有効利用します。

不燃物及び溶融飛灰を薬剤添加のうえで固化処理した固化物は倉浜衛生施設組合一般廃棄物最終処分場で埋立処分を行います。

### 設備計画の概要

ごみ焼却施設	
処理能力	309 t/日 = 103 t / 24h × 3炉
焼却炉形式	全連続燃焼式焼却炉
処理対象物	一般廃棄物 (可燃物)
ガス化溶融設備	ごみホッパ、給じん装置、ガス化炉、溶融炉、助燃装置、不燃物排出砂循環装置、不燃物選別装置
排ガス処理	ろ過式集じん装置、塩化水素除去装置、触媒脱硝装置等
給水設備	倉敷ダム原水もしくは倉敷ダム放流水から導水
排水処理	プラント排水：無機系・有機系について排水処理基本フローに従い処理し、処理水については再利用します。 生活排水：合併浄化槽で水処理後、公共用水域に放流します。
余熱利用	場内 (管理棟、収集部門管理棟) の冷暖房、給湯及び蒸気タービンによる発電と将来計画である場外施設 (地元還元施設) への熱供給を目的とした余熱利用設備

### イ リサイクルプラザ

缶類、びん、ペットボトル、古紙などの資源ごみは、分別して資源物として再生利用します。不燃性ごみ及び不燃性粗大ごみは破砕して、鉄・アルミを選別し、資源物として再生利用します。

なお、不燃物残渣は埋立処分します。

### 設備計画の概要

リサイクルプラザ	
処理能力	82 t / 5時間 (破砕選別系：28 t / 日、資源ごみ選別系：54 t / 日)
処理対象物	不燃性粗大ごみ、不燃ごみ (家庭系・事業系)、 資源ごみ (家庭系・事業系ごみ)
破砕設備	2軸剪断式、回転式
選別設備	磁力選別、機械選別
集じん・脱臭設備	バグフィルタ・活性炭吸着脱臭式
排水処理	プラント排水 (散水、床洗浄排水等)：隣接するごみ焼却施設において必要な処理を施し、場内再循環します。 生活排水：合併浄化槽で水処理後、公共用水域に放流します。

# 建設場所

